

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 153-2264
 住 所 東京都目黒区下目黒1-8-1
 氏 名 アマゾンジャパン合同会社
 代表社員 Amazon APAC Holdings, Inc.
 職務執行者 ジャスパー・チャン
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	アマゾンジャパン合同会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 神奈川県川崎市高津区北見方 3-14-1口		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	倉庫業(冷蔵倉庫業を除く)		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,797 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2021 年度 ~ 2023 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 https://amazon-press.jp/Top-Navi/Sustainability/Sustainability.html

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

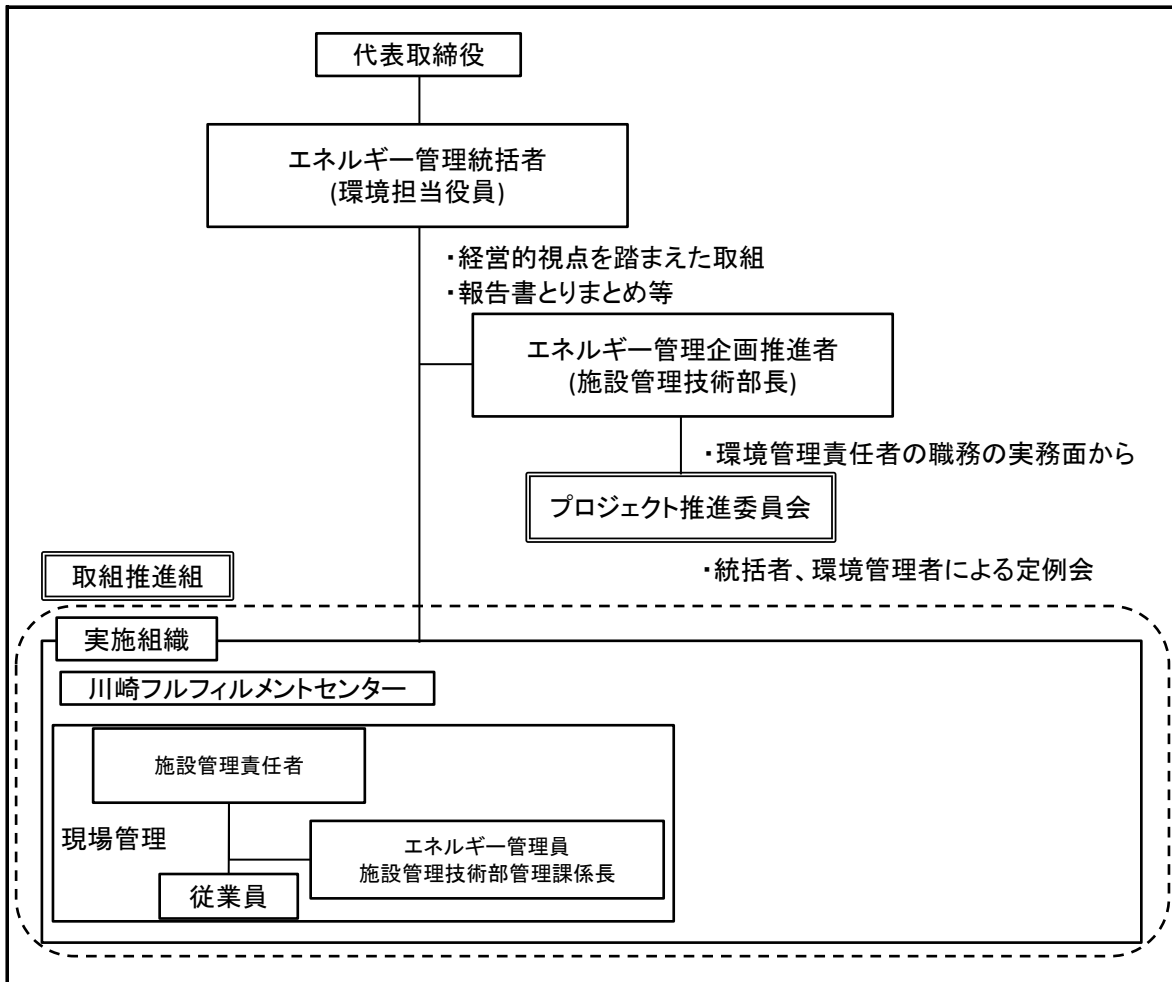
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 省エネルギー委員会を開催し省エネ活動と報告を行う事により温室効果ガスの排出量の削減を継続的に推進する。
2. 新規事業所や設備更新時には環境に配慮した効率の良い機種を選定し、機能を最大限発揮させた上でエネルギー需用量を最適化する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

省エネルギー委員会による全社的な省エネ活動の進捗をモニタリングすると共に、エネルギーの使用量および原単位を毎月集計し、そのデータを元に改善が必要な拠点や、改善ポイントを各拠点の担当者にフィードバックされる仕組みを運用する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準年度		2020 年度	
目標年度		2023 年度	
基準排出量	(実)	4,970	(実)
	(調)	4,807 t-CO ₂	(調)
目標排出量	(実)	4,821	(実)
	(調)	4,662 t-CO ₂	(調)
削減量	(実)	149 t-CO ₂	(実)
内訳	対策実施による削減量	(実) 150 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) -1 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率	(実)	3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		生産数量	
原単位の単位		t-CO ₂ /百万個	
基準年度の値		46.88	
目標年度の値		45.47	
削減率		3.0 %	

ウ 目標設定に関する説明

<p>目標排出量に達する対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化工事を進めて、施設内照明のLED化率を100%にする。 ・倉庫内空調負荷のコントロールを行い、電気量削減を行う。 <p>上記の計画に伴い排出量、原単位ともに3年間で3%削減することを目標とする。</p>

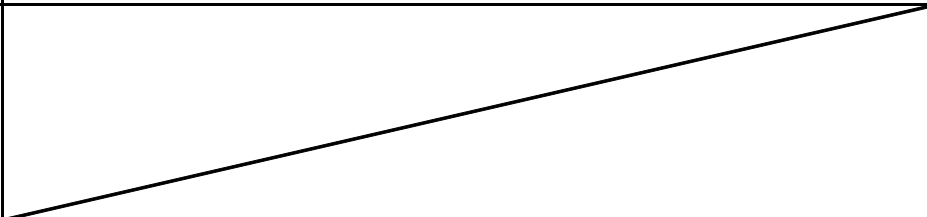
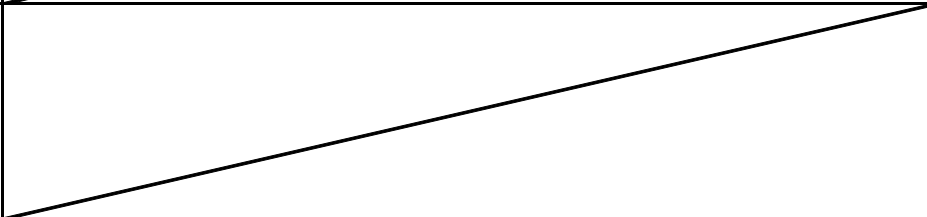
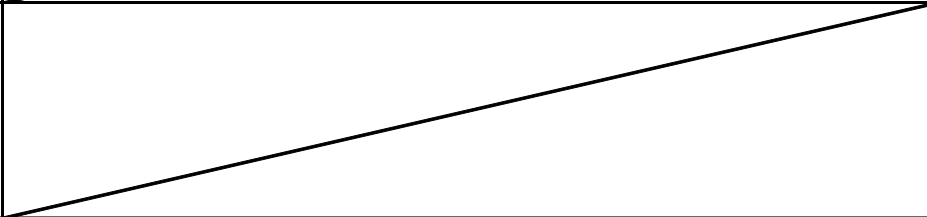
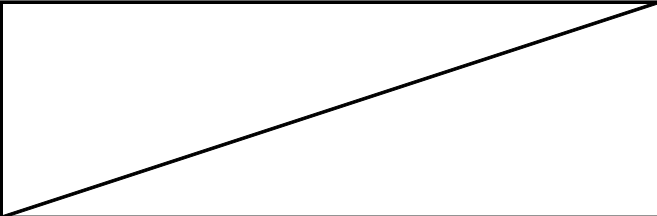
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

<p>AmazonとGlobal Optimismは2019年9月19日、パリ協定の2050年目標達成を10年前倒した気候変動対策に関する誓約「The Climate Pledge」を発表しました。Amazonはこの誓約に署名する最初の企業となります。The Climate Pledgeは署名企業に対して2040年までに事業全体で二酸化炭素排出量の実質ゼロ化が求められています。</p> <p>2040年までに炭素ゼロ化を100%達成</p> <p>パリ協定の目標を10年早め、2040年までに会社全体で炭素ゼロ化100%を達成するため、Amazonの技術と人材を活用していきます。</p> <p>2025年までに再生可能エネルギーの電力比率を100%に到達</p> <p>すべての事業で再生可能エネルギーの電力比率を2025年までに100%に到達させます。</p>
--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) 照明のLED化工事を進めて、施設内照明のLED化率を100%にする。 具体的には、高所、コンベヤー上の照明において、非LED照明を現在も使用している。これらに対して、高所作業車や足場の設置、コンベヤーを停止してのLED化工事を行うことで、全ての照明をLEDにする。 (2) 倉庫内空調負荷のコントロールを行い、電気量削減を行う。 具体的には、夏季、中間期、冬季、において、空調運用指針を作成し、それに基づき、毎日3時間ごとの温度湿度(ヒートインデックス)を確認し、空調運用指針に設定した温度湿度になるように、空調設備のコントロールを行い、電気量の削減を行う。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	賃貸施設の為、太陽光の設置が出来ない。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

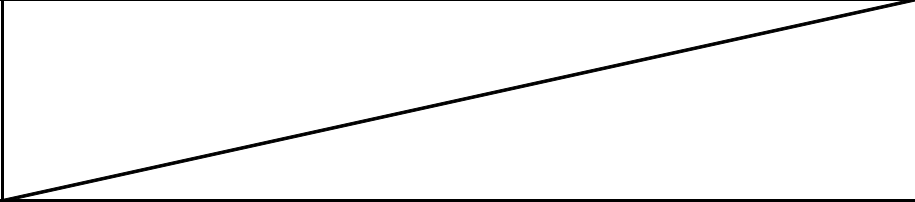
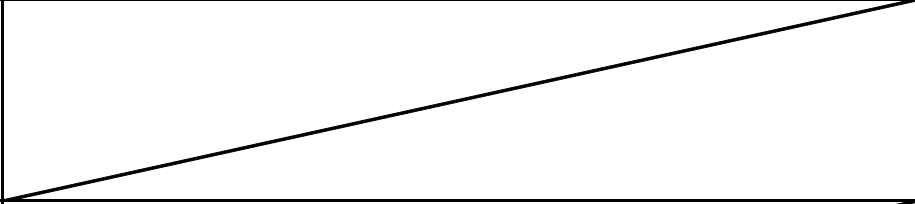
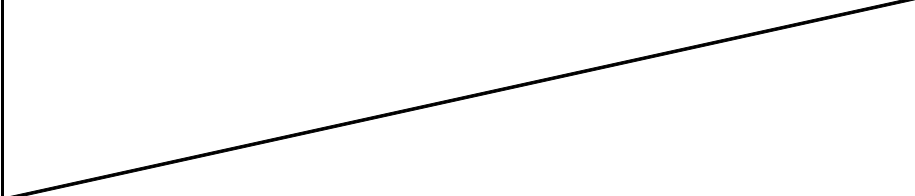
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

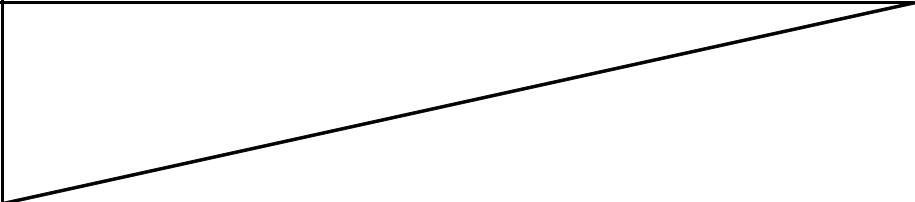
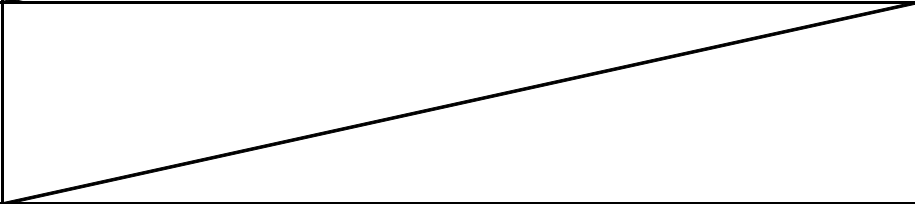
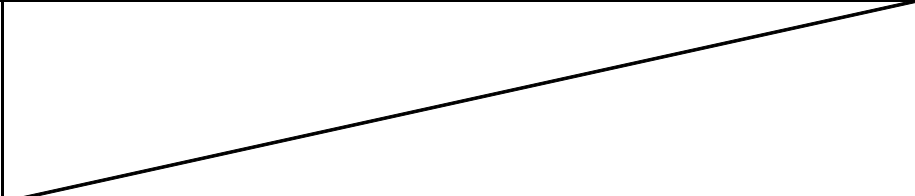
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	4,970	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,797	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎フルフィルメントセンター	川崎市高津区北見方 3-14-1	4,970 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂